

区分・種別	県指定有形文化財（工芸品）		
名称	どういん（いよぐんいん） 銅印（伊予軍印） 1個		
所在地	四国中央市土居町天満		
所有者	八雲神社	管理団体	
指定年月日	昭和31年11月3日		
解説	<p>伊予軍団の印、土居町天満の八雲神社伝来品である。銅製鑄造印で印面は、方36.9mm、全高24.6mm、重さ50.8gで背面中央部に直立した高さ19.6mm、幅16.3～17.2mm、中央上部に6.2mm×8.3mmの楕円形の穴のある把手がある。印面は角がやや丸みをもち、右肩部及び左右の辺に鑄崩れした欠損部が少し見られる。印面両端部の厚さは3.6mm、中央部では約5mmとなっている。文字は六朝風の温雅な書体で「伊豫軍印」と鑄込まれている。文字の高さは約1.4mm程度である。大和時代律令制によって諸国に配置された軍団は、延暦11(792)年に廃止され、一部を除き健児の制となる。</p> <p>この印は、他に現存する軍団印とは様式を異にしている。理由は不明であるが、何らかの時代背景が想定される。</p>		

